

産業分野の未利用熱実態調査の状況

未利用熱エネルギー革新的活用技術研究組合
技術開発センター

(産総研 省エネルギー研究部門 熱利用グループ)

平野 聡

未利用熱調査の背景と目的



(1) 文献調査

雑誌・新聞、学術誌、書籍、特許、
宣伝パンフレット、Web情報等
→ 代表的な事業所の未利用熱の
形態、温度、熱量、圧力等の把握

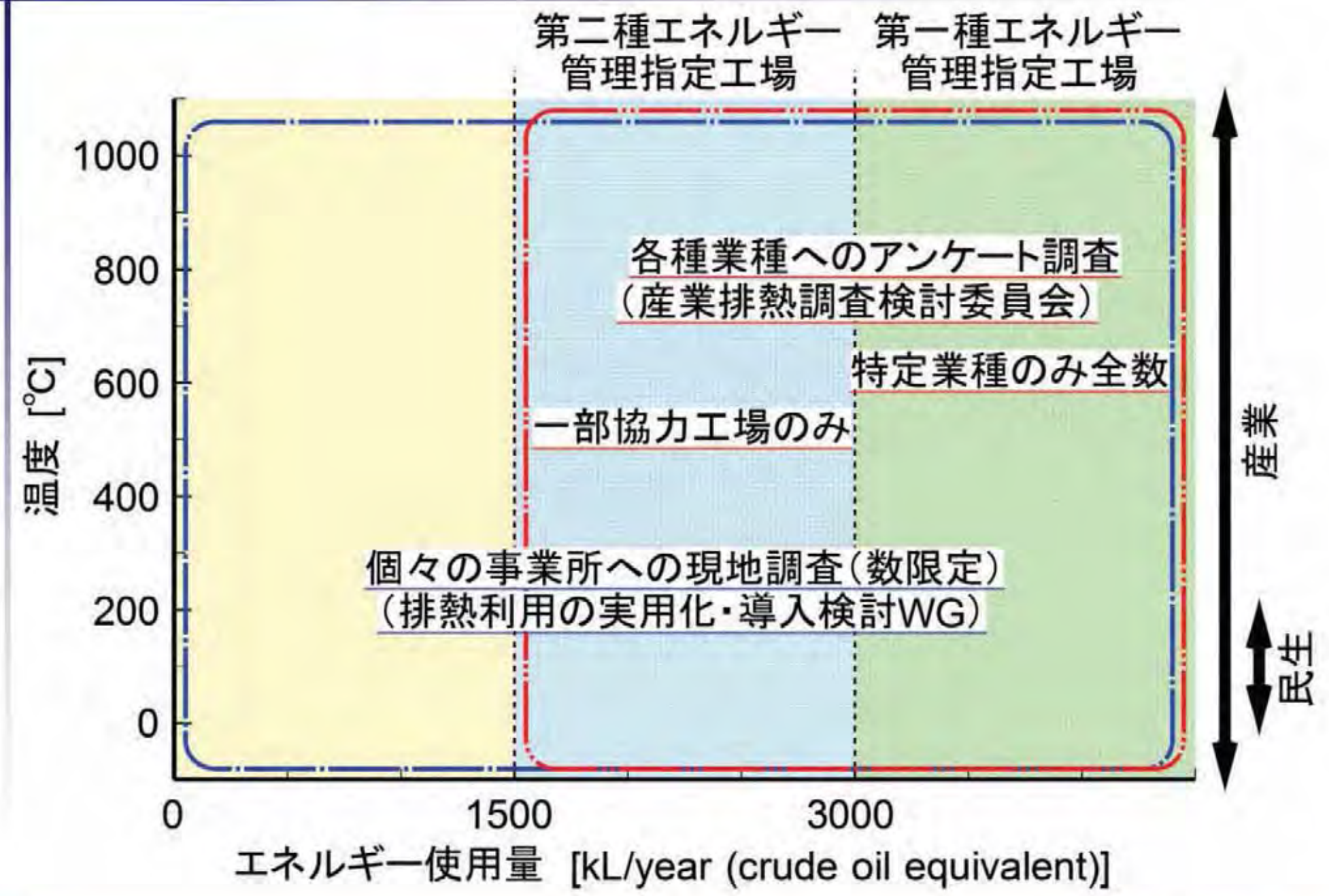
(2) アンケート調査

事業所へのアンケート
→ ・多様な業種、事業所の未利用熱、
熱利用状況の把握
・省エネルギーセンター「工場群の排熱
実態調査」(2000)との比較

(3) 現地調査

→ 代表的な事業所の詳細な熱利用状況の把握

調査対象



調査内容

- 1) 工場概要
- 2) 平成24年度の使用量と販売した副生エネルギー量
(定期報告書の記載内容)
- 3) **生産・製造設備および焼却設備の未利用熱**
(発電設備を除く)
- 4) 自家発電設備の未利用熱と副生エネルギー
- 5) 5年先までの産業技術や製造プロセスの変化動向に
関する意見
- 6) 新技術導入条件

上記6項目について、アンケート票を
約**3500事業所へ配布** (2014年3月)、結果分析

アンケート回答数（3500事業所中）

業種	第1種指定工場	第2種指定工場	合計
食料品	119	31	150
パルプ・紙・木製品	62	2	64
化学	190	35	225
石油・石炭	12	1	13
窯業・土石製品	62	8	70
鉄鋼	34	7	41
非鉄金属	36	10	46
機械	58	16	74
輸送機械	71	22	93
その他（上記以外）	60	212	272
合計	704	344	1048

※ 今回は対象を上記9業種中心とした

工場当たりの温度帯別の未利用排ガスの業種別熱量

